

たたかう労働組合の全国ネットワークをつくろう！

改憲・戦争と民営化 労組破壊にたち向う労働者の国際的団結を！

11・5全国労働者総決起集会への賛同と参加のお願い

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
全国金属機械労働組合 港合同
国鉄千葉動力車労働組合

全国のたたかう労働者のみなさん！

憲法改悪が具体的な政治日程にのぼるなど、私たちは歴史の大きな分岐点にたっています。

先の通常国会に提出された、教育基本法改悪法案、改憲国民投票法案、共謀罪新設、防衛庁の防衛省への昇格法案は、いずれもこれまでの社会の在り方を根本から覆す歴史的な反動法案です。小泉政権は、国会の三分の二議席を越す数の力を頼りに強行採決し、改憲に突き進もうとしました。しかし、時代への危機感が充満し、我慢のならない怒りの声がいっ噴出するかもしれない状況を恐れて採決できず、闘いは秋の臨時国会にもちこされました。秋に向け、再び全力を尽くして闘いを組織しなければなりません。

日米安保の飛躍的強化がおし進められ、憲法九条改悪の布石として、ミサイル実験を口実に「北朝鮮脅威論」がマスコミを使って洪水のように宣伝され、排外主義や国家主義が煽りたてられています。ブッシュや小泉は、泥沼化するイラク侵略戦争の危機に突き動かされ、戦争を世界に拡大しようとしています。

一方、行革関連三法や、医療制度改革法の制定が強行され、八時間労働制や労働者の団結権を解体する労働契約法の制定が画策されています。それと一体で、闘う労働組合や市民運動の存在そのものを否定する刑事弾圧が相次いでいます。

政府・財界の激しい攻撃のなかで、すでに無数の労働者が団結や雇用を破壊され、無権利の非正規職に突き落とされています。年収二百万円以下の世帯が五世帯に一世帯を上回るという「格差社会」が止めどなく進行し、年金や医療制度をはじめとした社会保障制度が解体され、闘わなければ生きていくことができない時代が到来しています。

この現実、労働組合が変質し、団結が破壊され、市場原理主義の暴走を許したときに何がもたらされるのかを鮮明に示しています。今、何よりも求められているのは、労働運動の現状を変革することです。団結を取り戻し、労働組合を甦らせることです。今こそ不一点は留保し、一点点を拡大して、改憲・戦争と民営化 労組破壊攻撃にたち向う共同行動をつくりだそう。闘う労働組合の全国ネットワークをつくりあげよう。

現在の攻撃の出発点であった国鉄分割・民営化について、中曽根元首相が「国労を潰し、総評、社会党を崩壊させて、立派な憲法を安置するためにやった」と繰り返し発言し、今また森前首相が「郵政民営化で全通、自治労、日教組をつぶす」と公言しているとおり、民営化 労組破壊攻撃と憲法改悪は一体で進められました。以降労働運動は止めどない変質を深め、今、改憲容認にまで転落しようとしています。しかし、そうした否定的現実やナショナルセンターの枠をこえて現場からの怒りの声が高鳴りはじめています。

この一年、私たち三組合は、労働運動の再生をめざして闘いを積み上げてきました。連帯労組関西地区生コン支部は大弾圧を毅然とはね返して、永年の闘いによって築きあげてきた産別政策闘争の画期的な地平を守り、さらに発展させようとしています。港合同は「団結こそ命」を掲げ、矛盾が集中する中小零細企業に働く仲間を地域で組織し、倒産・解雇攻撃と対決して闘い続けています。勤労千葉は、国鉄分割・民営化によってもたらされた尼崎事故 安全の崩壊という現実に対し、不当処分をはね返して反合理化・運転保安確立の闘いにたちあがり、一〇四七名の解雇撤回闘争を継続しています。また、「日の丸・君が代」強制を拒否する教育労働者の闘い、民営化 労組破壊攻撃の矢面にたたさされている郵政や自治労の仲間たちの現場からの闘い、日米安保の再編に対する沖繩の闘いなど、新たな闘いが職場・地域から火の手をあげはじめています。今春の共謀罪、教基法反対闘争が示したように、労働者の闘いこそが事態の本質を社会的に明らかにし、情勢を動かす力です。闘えば必ず展望は開かれる・・・私たちはそのことを実感しながら、団結して闘いの道を貫いてきました。

全世界で闘いが燃え上がっています。フランスの労働者・学生は、三百万のデモとゼネストで初期雇用契約法を撤回させました。韓国の労働者は幾度ものゼネストで非正規職関連法の制定を阻止しています。アメリカでもストライキが激発し、一千万の移民労働者が立ち上がっています。こうした闘いは、新たな情勢のなかで、労働運動の変革・再生を求める現場からの声が大きくなつたりとなり、力となって登場する時代が到来していることを示しています。

私たちは、表記集会に全国の職場・地域で奮闘する多くの仲間たちのご参加をいただき、怒りの声をたぎらせて、支配の厚い壁を突き破る、闘う労働組合の全国ネットワークをつくりあげたいと考えております。志を同じくするすべての皆さんの賛同と参加を心よりお願い申し上げます。

二〇〇六年八月

集会名称 「たたかう労働組合の全国ネットワークをつくろう！改憲・戦争と民営化 労組破壊にたち向う」

労働者の国際的団結を！11・5全国労働者総決起集会「

とき 11月5日(日) 正午開会

ところ 東京・日比谷野外音楽堂